

●学校へどうぞ気軽にお出かけください●

— 10月～3月の町内各校の公開日時等 —

「いつでも・どこでも・どなたでも」町内4校の小中学校自由参観出来ます。

※来校の折りには、事務室で受付を通していただくようお願いします。

学校名及び問い合わせ先		 下諏訪町立下諏訪南小学校		 27-5000	
行事名	実施日時		対象(学年) 及び内容		
校内音楽会	10 / 26 (金)	8 : 40～12 : 30	全学年	合唱・合奏の発表	
家族祖父母参観日	11 / 17 (土)	8 : 45～12 : 00	全学年	授業参観・学習発表など	
地域公開参観日	1 / 22 (火)	13 : 55～15 : 00	全学年	チャレンジタイムと授業参観・学級懇談会	
	2 / 14 (木)	14 : 15～15 : 00	5・6年		
	2 / 20 (水)		3・4年	授業参観・学級懇談会	
	2 / 22 (金)		1・2年		

 下諏訪町立下諏訪北小学校		 27-2288			
校内音楽会	10 / 26 (金)	9 : 00～12 : 00	全 校	音楽会	
地域公開参観日	9 / 26 (水)	13 : 45～14 : 25	全学年	授業参観	
	11 / 21 (水)		5・6年		
	2 / 8 (金)		3・4年	授業参観	
	2 / 15 (金)		1・2年		
	2 / 20 (水)				

 下諏訪町立下諏訪中学校		 27-3000			
学校自由参観	随 時	7 : 30～18 : 30 (部活終了まで)	全学年	部活動練習、学活、授業、給食、清掃などの学校生活の全て	
地域公開参観日	11 / 6 (火)	8 : 45～16 : 00	全学年	公開授業、給食試食会・講演会	
	2 / 25 (月)			公開授業、後期PTA総会	

 下諏訪町立下諏訪社中学校		 28-7600			
地域公開参観日	11 / 6 (火)	8 : 45～15 : 30	全学年	公開授業、給食試食会	
	2 / 14 (木)			公開授業、PTA総会	
地域連携の会	11 / 13 (火)		全学年	公開授業、社中生を語る会	
校内音楽会	10 / 27 (土)	9 : 00～15 : 00	全 校	音楽会	

 長野県花田養護学校		 28-3033			
第7回学校祭 花はな祭	11 / 30 (金)	未定 (8 : 50～13 : 50)	全 校	展示見学・体験、音楽のつどい、PTA作品展	
	12 / 1 (土)				
校外バザー	9 / 25 (火)	未定 (10 : 30～13 : 40)	高等部校外バザー		
	11 / 9 (金)		中学部校外バザー		
地域公開参観日	10 / 19 (金)	10 : 30～13 : 40	授業参観		
	1 / 11 (金)		授業参観		
	2 / 22 (金)		授業参観、中等部校内バザー		

 下諏訪向陽高等学校		 28-7582			
地域公開授業	10 / 12 (金)	10 : 05～12 : 55	全学年	中学生(学校選択の参考となるよい機会です)、保護者、地域の方	

教育委員会からのお知らせ

町民総合文化祭（民公協働事業）

作品展 日時：9月28日（金）～9月30日（日）

28日は午前8時30分～午後6時、29日は午前9時～午後6時、
30日は午前9時～午後4時

場 所：下諏訪総合文化センター

内 容：華道・書道・絵画・手芸・盆栽・彫刻・陶芸 などの展示

芸能祭 日時：9月30日（日）午前10時00分 開演（予定）

場 所：下諏訪総合文化センター やまびこホール

内 容：木遣り・大正琴・詩吟・踊り・ダンス などの発表

音楽祭 日時：10月28日（日）第1部 午前10時 開演予定・第2部 午後1時 開演予定

場 所：下諏訪総合文化センター やまびこホール

内 容：合唱・合奏・吹奏楽・ギター などの発表

※ 開演時間等のお問い合わせ：下諏訪町公民館 ☎28-0002（下諏訪総合文化センター内）

町民大学 一下諏訪を学ぶ③—

演 題：「諏訪の風土を生かした地場産業の再発見を！」

講 師：元富士見小学校長 伊藤 文夫

日時：9月16日（日）午後1時30分～午後3時00分

会 場：文化センター集会室



伊藤 文夫 先生

諏訪には、風土を生かした産業が栄えて来ました。その現状と課題を知る中で、よさを見直し“町づくり”を考えあえたらと思います。①ものづくりの原点「地場産業」とは ②風土を生かした地場産業の歴史と現状（寒天、氷餅、味噌、酒、湖魚、製糸等） ③先進地に学ぶ“もの”の発信 ④諏訪の“風景”を残した“もの”を（講師コメント）

※前号の「下諏訪が好き⑤」の中井大介さんの住所は東四王（×御田町）です。訂正しお詫びいたします。

人権を考える

人を思い遣る心



四十八年前、夏季オリンピックがアジアで初めて東京で開催された。当時の日本は、経済発展の途上にあり、所謂イケドンドンの時代であり、将来に希望があった。

その当時と比べ、今の我々の生活水準は物量的には確かに豊かになってきているが、質的にはそれほど向上しているとは思えない。

経済発展の基となった競争社会は、互いに他人を思い遣る心と行動を少しずつ削ぎ落としてきてしまった。また、自分の権利意識だけが強くなり、かたや自分の責任を果たそうとする意識が低下してきている感がある。他人を思い遣る素は「人が生まれながらもっている権利を互いに尊重する」ことであり、その考えで行動すれば、自ずと責任を全うするので、私は考える。

昨今の、学校や会社等、社会で起きている問題は、他人を思い遣る心があればかなり減ったのではと思う。自分の権利を法律擦れ擦れまで活用する人が、日本社会を引っ張ろうとするのを見ると、将来が心配だ。

（橋爪）